スーパーマーケット景気動向調査

2025年11月調査結果（10月実績）
（2025年11月21日公表）

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

1.経営状況：「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」
スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について
- 前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの５段階で評価
- 前年同月を100とした当月の値を調査　※2014年4月実績より

2.カテゴリー動向：「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」
スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、
- 前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの５段階で評価
- 各カテゴリーの好不調要因についてのコメント

経営動向調査DI（Diffusion Index）の算出方法
回答構成比（%）に以下の点数を乗じてDIを算出
かなり改善＋0.5・やや改善＋0.25・変わらない±0 ・やや悪化－0.25・かなり悪化－0.5
※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

【景況感調査】

1.景況感：「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、
- ２～３ヵ月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」まで５段階で評価
- 今後２～３ヵ月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの５段階で評価

景況感DI（Diffusion Index）の算出方法
回答構成比（%）に以下の点数を乗じてDIを算出
かなり改善＋1.0・やや改善＋0.75・変わらない＋0.5 ・やや悪化＋0.25・かなり悪化＋0
※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

一般社団法人　全国スーパーマーケット協会
一般社団法人　日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会

11 月調査（10 月実績）結果概況

現状判断、見通し判断とも前月から小幅に上向く

10月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断 DI の現状判断は、前月から＋0.8 の 46.4、見通し判断が前月から＋0.6 の 44.4となり、共に前月から小幅に上向いた。

経営動向調査では、前月から大きな傾向の変化はなく、売上高 DI が小幅にプラス圏を維持、収益 DI は小幅にマイナス圏となった。引き続き客単価 DI が高水準を維持した一方で、来客数 DI はマイナス圏での推移となっている。

カテゴリー動向調査では、米が高値で推移し売上高としては好調となっている一般食品カテゴリーDIが、二桁プラス水準まで上昇した。惣菜 DI は好調を維持、豚肉相場に落ち着きがみられた畜産 DI もプラス圏を回復した。（カテゴリー別動向に詳細掲載）

景況感調査には大きな変化は見られず、全般的に前月水準での推移となっている。（長期傾向は P11 参照）

10月後半からようやく気温が下がりはじめ、秋冬商材に動きがみられはじめた。一方で食品全般の値上げ長期化による、節約志向の高まりや買上点数の減少を指摘するコメントが目立つ。このような状況のなか、政府は物価高対策、家計支援策として、コロナ対策以降最大の 20 兆円を超える規模で実施を調整していると報道されている。ガソリン税暫定税率の廃止を含め、これらの経済対策が消費者心理をどれだけ下支えできるか、スーパーマーケットへの効果やコスト・業務負担がどうなるか、など今後の動向を注視したい。

景況感調査

現状判断

景気判断DI	消費者購買意欲DI	周辺地域　競合状況DI	店舗周辺地域　景気判断DI
当月：４６．４（＋０．８）	当月：４４．１（＋０．１）	当月：４４．１（－１．２）	当月：４６．９（＋０．５）
前月：４５．６	前月：４４．０	前月：４５．３	前月：４６．４

見通し判断

景気判断DI	消費者購買意欲DI	周辺地域　競合状況DI	店舗周辺地域　景気判断DI
当月：４４．４（＋０．６）	当月：４３．８（－０．２）	当月：４２．３（－１．４）	当月：４６．０（＋０．１）
前月：４３．８	前月：４４．０	前月：４３．７	前月：４５．９

経営動向調査　経営状況

売上高DI	客単価DI	来客数DI	
当月：５．８（＋２．８）	当月：１３．８（＋１．２）	当月：－７．１（＋２．５）	
前月：３．０	前月：１２．６	前月：－９．６	
収益DI	**販売価格DI**	**生鮮品仕入原価DI**	**食品仕入原価DI**
当月：－０．６（＋２．１）	当月：２１．５（－０．８）	当月：１５．８（－２．５）	当月：２０．８（－２．４）
前月：－２．７	前月：２２．３	前月：１８．３	前月：２３．２

カテゴリー動向

青果DI	水産DI	畜産DI	
当月：－３．０（－２．０）	当月：－３．０（－６．５）	当月：２．４（＋５．１）	
前月：－１．０	前月：３．５	前月：－２．７	
惣菜DI	**日配DI**	**一般食品DI**	**非食品DI**
当月：８．９（＋１．６）	当月：１．２（＋２．４）	当月：１３．３（＋９．０）	当月：－７．５（＋５．２）
前月：７．３	前月：－１．２	前月：４．３	前月：－１２．７

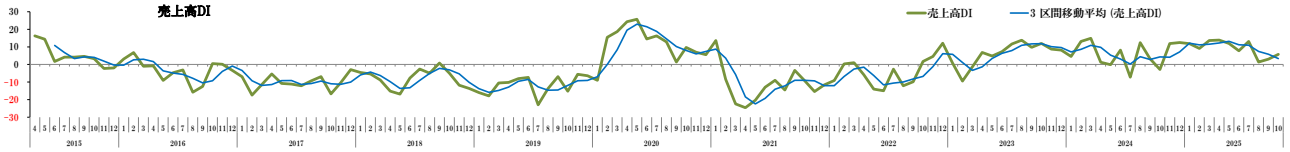
※DI 値は前年同月との比較／（）内は前月 DI からの変化

結果詳細　Ⅰ．経営動向調査（2014 年 1 月～）

1．　売上高 DI

前月から小幅に上昇、プラス圏を維持

回答構成比（%）	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高（前月）	5.7	22.8	33.5	29.7	8.2	3.0
売上高（当月）	**1.5**	**17.7**	**41.5**	**34.6**	**4.6**	**5.8**



2．　収益 DI

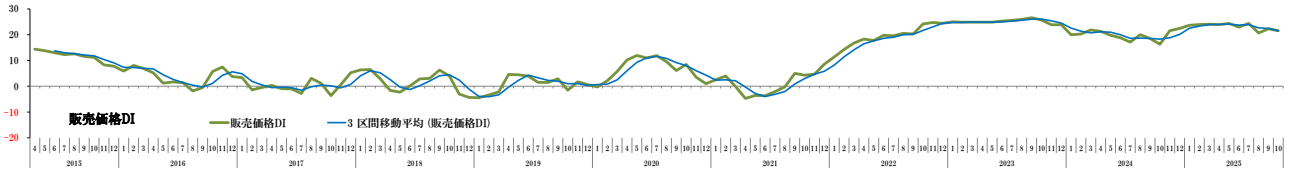
前月から小幅に上昇もマイナス圏で推移

回答構成比（%）	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益（前月）	7.7	26.3	41.7	17.9	6.4	-2.7
収益（当月）	**6.2**	**24.0**	**38.0**	**29.5**	**2.3**	**-0.6**

3．　販売価格 DI

前月から小幅に下落、二桁プラス水準で推移

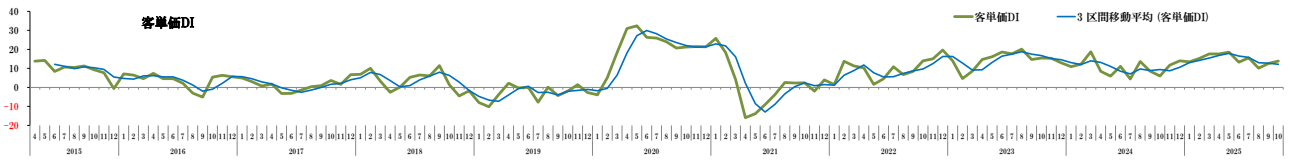
回答構成比（%）	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格（前月）	0.0	3.8	15.3	68.8	12.1	22.3
販売価格（当月）	**0.0**	**2.3**	**16.9**	**73.1**	**7.7**	**21.5**



4．　客単価 DI

前月から小幅に上昇、二桁プラス水準を維持

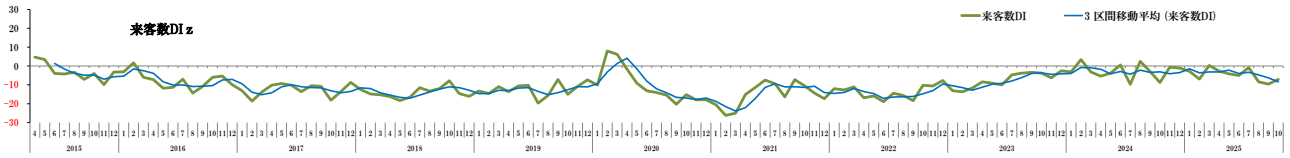
回答構成比（%）	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価（前月）	0.6	9.6	32.5	53.5	3.8	12.6
客単価（当月）	**0.8**	**3.8**	**37.7**	**54.6**	**3.1**	**13.8**



5. 来客数 DI

前月から小幅に上昇も、マイナス圏が続く

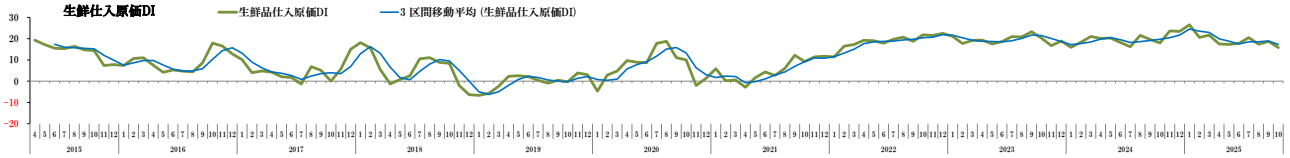
回答構成比（%）	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数（前月）	5.8	48.7	26.3	16.7	2.6	-9.6
来客数（当月）	**5.4**	**35.4**	**42.3**	**16.2**	**0.8**	**-7.1**



6. 生鮮仕入原価 DI

引き続き二桁プラス水準で推移

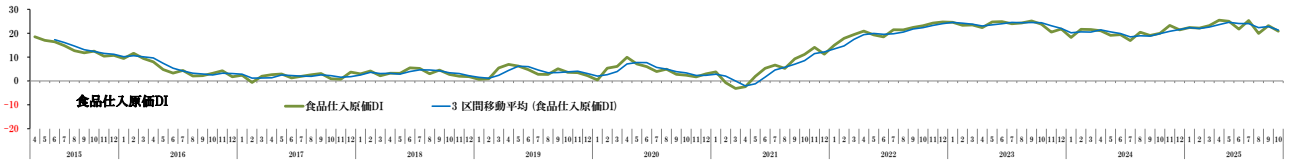
回答構成比（%）	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価（前月）	0.0	5.9	23.0	63.2	7.9	18.3
生鮮仕入原価（当月）	**0.0**	**9.4**	**26.6**	**55.5**	**8.6**	**15.8**



7. 食品仕入原価 DI

前月から下落も、54 か月連続プラス圏

回答構成比（%）	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価（前月）	0.7	2.6	17.2	62.3	17.2	23.2
食品仕入原価（当月）	**0.8**	**3.2**	**20.6**	**62.7**	**12.7**	**20.8**



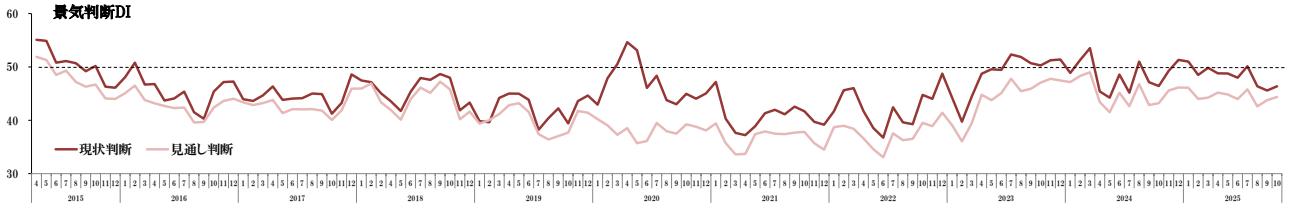
Ⅱ．景況感調査（2014 年 4 月～／周辺地域景気判断 2010 年 4 月～）

1． 中核店舗景気判断 DI

現状判断、見通し判断は共に小幅に改善

回答構成比（%）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】景気判断（前月）	1.3	27.7	58.5	12.6	0.0	45.6
【現状】景気判断（当月）	**1.5**	**23.7**	**63.4**	**10.7**	**0.8**	**46.4**

回答構成比（%）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】景気判断（前月）	1.3	31.8	57.3	9.6	0.0	43.8
【見通し】景気判断（当月）	**2.3**	**25.6**	**64.3**	**7.8**	**0.0**	**44.4**

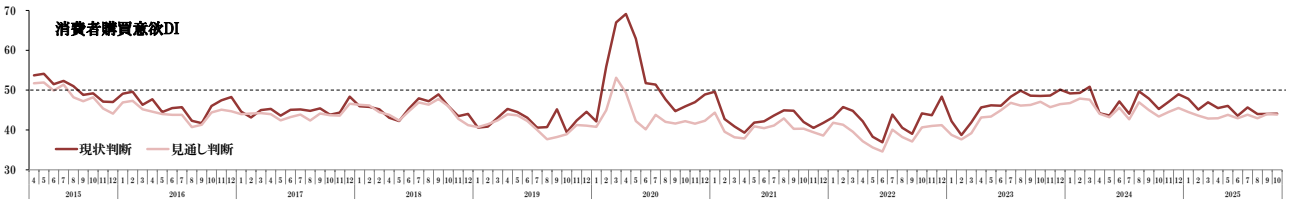


2． 消費者購買意欲 DI

現状判断、見通し判断共に前月水準

回答構成比（%）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】購買意欲（前月）	1.3	29.6	61.6	6.9	0.6	44.0
【現状】購買意欲（当月）	**1.5**	**27.5**	**64.1**	**6.9**	**0.0**	**44.1**

回答構成比（%）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】購買意欲（前月）	0.6	31.0	60.8	7.0	0.6	44.0
【見通し】購買意欲（当月）	**0.8**	**30.0**	**62.3**	**6.9**	**0.0**	**43.8**

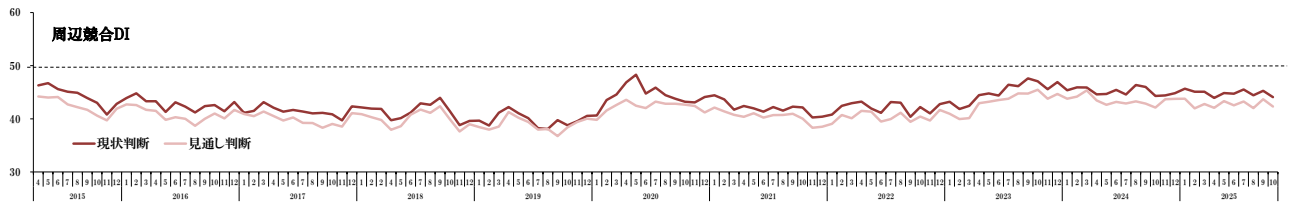


3． 中核店舗周辺競合状況 DI

現状判断が悪化、見通し判断も小幅に悪化

回答構成比（%）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】競合状況（前月）	0.0	20.8	77.4	1.9	0.0	45.3
【現状】競合状況（当月）	**3.1**	**17.6**	**79.4**	**0.0**	**0.0**	**44.1**

回答構成比（%）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】競合状況（前月）	1.9	22.8	74.1	1.3	0.0	43.7
【見通し】競合状況（当月）	**5.4**	**20.8**	**73.1**	**0.8**	**0.0**	**42.3**

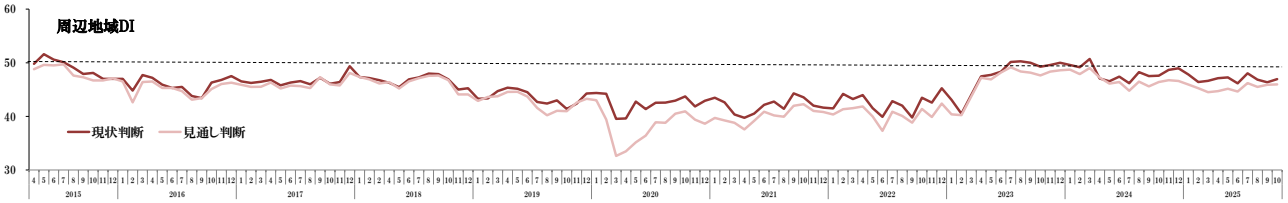


4. 中核店舗周辺地域景気判断 DI

現状・見通し判断共に前月水準で推移

回答構成比（%）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】地域景気（前月）	0.0	17.1	80.4	2.5	0.0	46.4
【現状】地域景気（当月）	**0.8**	**14.5**	**80.9**	**3.8**	**0.0**	**46.9**

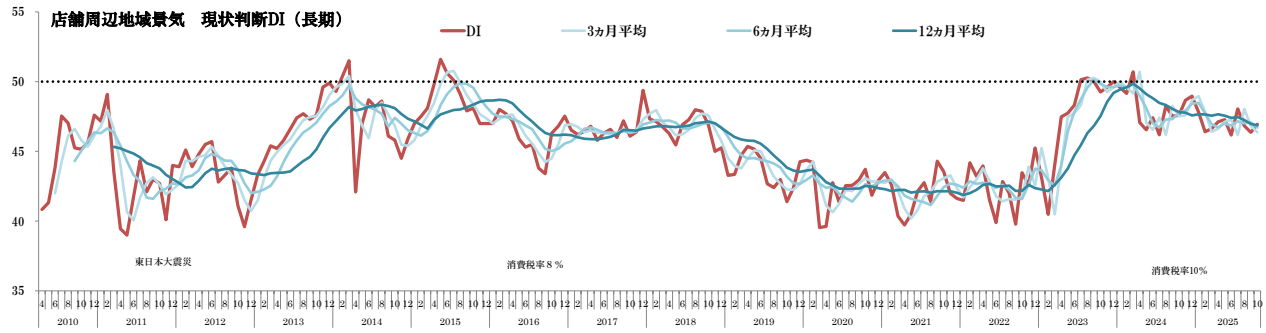
回答構成比（%）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】地域景気（前月）	0.0	20.3	75.9	3.8	0.0	45.9
【見通し】地域景気（当月）	**0.8**	**18.5**	**76.9**	**3.8**	**0.0**	**46.0**

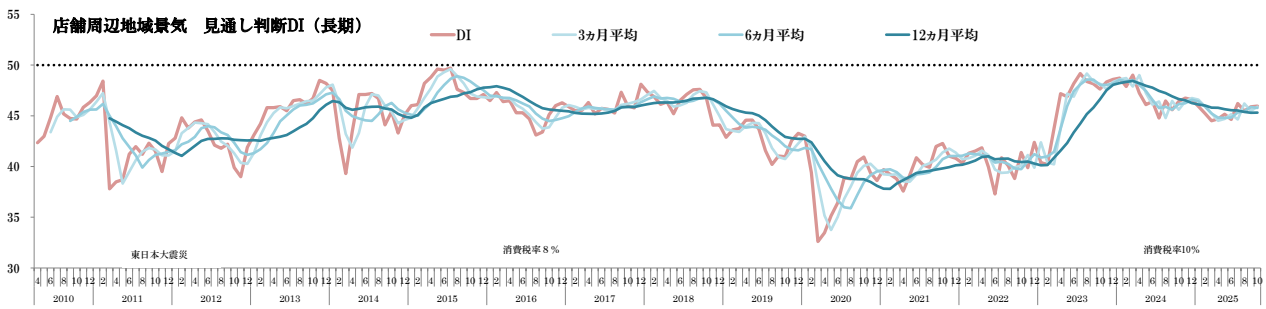


・中核店舗周辺地域景気判断 DI　長期傾向（2010 年 4 月～）

周辺地域景気判断 DI は 2011 年 3 月の東日本大震災以降低迷を続けたが、12 年 11 月から 16 ヵ月にわたる改善が続き、14 年 3 月は現状判断 DI が 51.5 を記録。14 年 4 月の消費税率 8%引き上げにより大幅に悪化するも徐々に持ち直し、15 年 5 月には現状判断 DI は 51.6 に達し、調査開始以来の最高値を更新した。その後 15 ヵ月間にわたり悪化傾向は続き 16 年 9 月には、現状判断 DI は 43.4 まで低迷した。

以後方向感の乏しい推移が続いたが、18 年の後半から悪化傾向が顕著となり、19 年 7 月には現状判断 DI は 42.3 まで低下した。21 年は、感染状況により上下する動きとなった。22 年は、感染が再拡大した7月以降に大幅な改善をみせた。23 年も改善が続き、7 月には判断の分かれ目である 50 を突破、その後も高水準を維持した。24 年前半に悪化したものの、後半は緩やかな改善傾向が続いた。25 年に入りダウントレンドが続いているが、夏ころにかけてやや持ち直した。

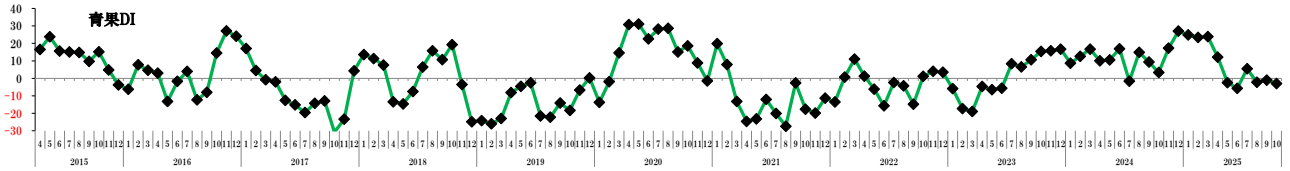




Ⅲ.カテゴリー別動向

1.　青果 DI：-3.0（やや不調）

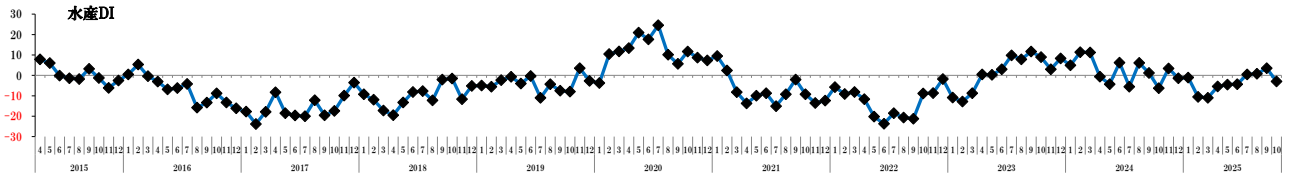
回答構成比（%）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
青果（前月）	8.6	28.5	27.8	28.5	6.6	-1.0
青果（当月）	**3.9**	**33.9**	**37.0**	**20.5**	**4.7**	**-3.0**



青果相場は葉物類を中心に落ち着きがみられ、一品単価が下落傾向、販売量が伸び悩み、やや不調となった。下旬からは気温が低下し、白菜やキノコ類など鍋物関連の動きがよかった。じゃがいも、たまねぎなど土物類は相場高で単価が上昇、好調となった地域が多い。一方で高騰したトマトをはじめサラダ関連野菜は伸び悩んだ。果物類は入荷量の少ないリンゴは不振も、みかん、柿など他の国産果物は好調に推移した店舗が多い。価格の安定している輸入果物ではバナナやキウイフルーツ、カットフルーツなどが引き続き好調に推移した。

2.　水産 DI：-3.0（やや不調）

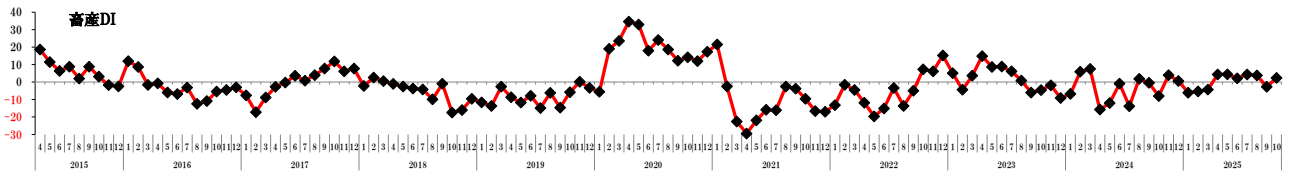
回答構成比（%）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
水産（前月）	8.0	19.3	33.3	29.3	10.0	3.5
水産（当月）	**4.7**	**35.4**	**31.5**	**23.6**	**4.7**	**-3.0**



引き続き生サンマや生イカが好調で、前年より売上を大きく伸ばしたものの、マグロやカツオなどの刺身類の動きが悪く、全体としては、やや不調となった。不漁により高値で推移したシラスやカツオ、秋鮭などは苦戦した店舗が多かった。中旬まで気温が高く推移したことで、鍋商材は動きが鈍かった。牡蠣やあさりなどの加熱用貝類を好調とする店舗が多いが、ホタテは価格が高騰しており不調となった。

3.　畜産 DI：2.4（やや好調）

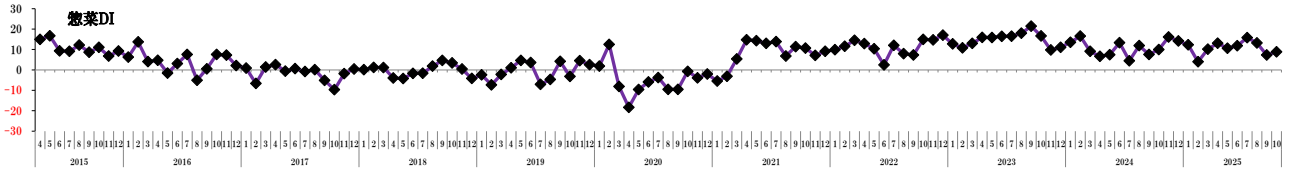
回答構成比（%）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
畜産（前月）	8.0	30.0	32.0	24.7	5.3	-2.7
畜産（当月）	**1.6**	**27.6**	**34.6**	**32.3**	**3.9**	**2.4**



牛肉の低調と、豚肉・鶏肉など値ごろ商品への需要シフト傾向は継続しているが、国産豚肉の相場が安定してきて、スライスや切り落としなどが好調に推移し、気温低下により鍋需要も高まり、全体を牽引した。牛肉は高止まり傾向が続き、輸入牛は不振も、国産にはやや回復傾向もみられた。鶏肉は価格高騰が続くなかでも堅調に推移した。加工肉は不調とする店舗が多かった。

4. 惣菜 DI：8.9（やや好調）

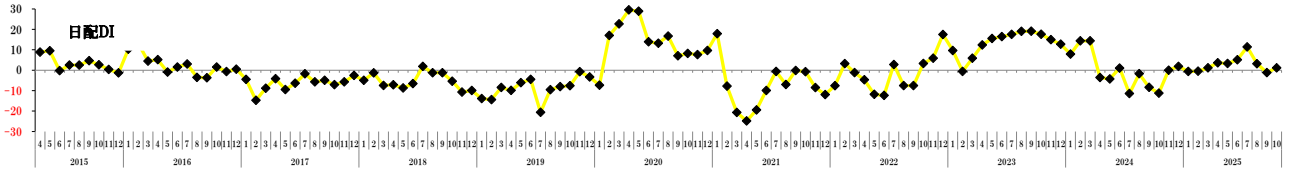
回答構成比（%）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
惣菜（前月）	3.3	20.5	31.1	33.8	11.3	7.3
惣菜（当月）	**1.6**	**15.0**	**34.6**	**44.1**	**4.7**	**8.9**



気温の低下とともに揚げ物・てんぷら類、冷惣菜はやや鈍くなったものの、米飯類、麺類は引き続き堅調に推移しており、カテゴリー全体では好調に推移した。牡蠣やサンマなど、秋らしい商材を使用した惣菜が好調に推移。焼そば、たこ焼など軽食関連も好調とのコメントが多い。一方で寿司類は動きが鈍かった。運動会や行楽需要により、焼鳥や餃子などのおつまみ関連も順調に推移した店舗が多い。

5. 日配 DI：1.2（やや好調）

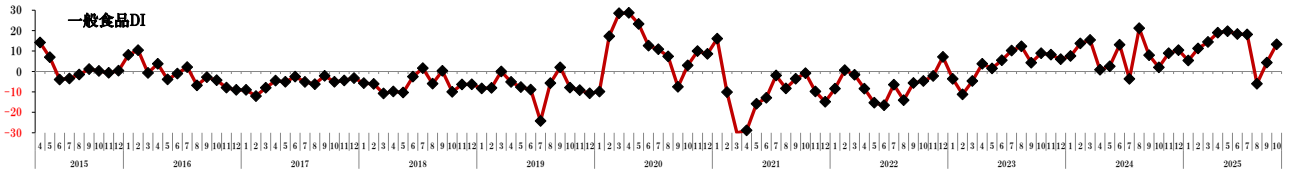
回答構成比（%）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
日配（前月）	6.0	27.3	38.7	21.3	6.7	-1.2
日配（当月）	**4.7**	**22.0**	**40.2**	**29.9**	**3.1**	**1.2**



前年より気温が低く推移した地域を中心に、練り物やおでん関連商材や麺類などホット商材の動きが良くなった。鶏卵は価格高騰が続き売上としては堅調。和日配はコメ品薄解消も高止まりしているため好不調が分かれた。洋日配ではヨーグルト類は好調だが、価格改定のあった乳製品の販促ができず、乳酸飲料の反動減で伸び悩んだ店舗が多い。アイスは前年より不調となった地域が多かったが、冷凍食品は引き続き堅調に推移した。

6. 一般食品：13.3（好調）

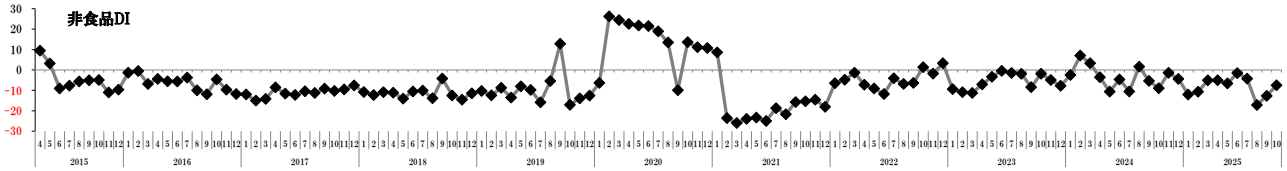
回答構成比（%）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
一般食品（前月）	8.7	19.3	28.7	32.7	10.7	4.3
一般食品（当月）	**0.0**	**13.5**	**32.5**	**41.3**	**12.7**	**13.3**



米は、新米の入荷で品薄が解消、価格は高止まりしており、売上高としては好調が続いている。節約志向を受けたコメ代替品としてレンジ米飯、パスタ、インスタント麺類なども好調に推移した店舗が多い。値上げと気温低下でインスタントコーヒーなど嗜好品カテゴリーを好調とするコメントが多い。ハロウィン関連の菓子は堅調に推移した。気温の低下とともに鍋つゆ、カレーやシチューなどのホットメニュー関連商材の動きがよかった。酒類はメーカー出荷トラブルの影響もあったがビール新商品などがけん引し全体的に好調な推移となった。

7． 非食品 DI：-7.5（やや不調）

回答構成比（%）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
非食品（前月）	12.7	43.0	30.3	10.6	3.5	-12.7
非食品（当月）	**7.9**	**39.7**	**34.1**	**11.1**	**7.1**	**-7.5**



ドラッグストアなどとの競争によって、厳しい状況が続いている。気温の低下で冬物衣料、入浴剤、カイロなどの需要がみられた。インフルエンザの流行により、マスクなど衛生用品も順調に推移した。紙類は高値による販売数量減で不調となった。

カテゴリー別 DI による好不調判断

かなり好調： ～ 20　　好調： 20 ～ 10　　やや好調：10 ～ 0
やや不調 ： 0 ～ -10　　不調：-10 ～ -20　　かなり不調： -20～

2025 年 11 月調査（10 月実績）キーワード TOP3

1．米高値継続で好調
2．月後半から気温低下、ホット商材好調
3．値上げによる買上点数の減少

（参考）2024 年 11 月調査（10 月実績）キーワード TOP3

1．気温が高く、秋冬商材不振
2．新米の流通、価格高騰、点数減
3．節約志向

スーパーマーケット景気動向調査　集計数

10 月実績速報版　　131 社
9 月実績確報版　　159 社

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ

スーパーマーケット統計事務局　tokei@super.or.jp